

山梨県立 Yamanashi Prefectural Archaeological Museum

考古博物館だより



HP ACCESS

No. 101

<https://www.pref.yamanashi.jp/kouko-hak/>

X @yamanashi_kouko f @yamanashi.kouko1103

春季
企画展

甲州市安道寺遺跡

— 縄文時代の大きなムラ —

国重要文化財指定記念

Topics

第 23 回わたしたちの研究室

開催報告—Event Report—

次回展示—Next Exhibition—

令和 8 年度

イベント予定一覧
掲載号

[画像] 安道寺遺跡 17 号住居跡内土坑

Spring Exhibition

甲州市安道寺遺跡

—縄文時代の大きなムラ—

2026 4.25(土) - 6.14(日)

甲 州市安道寺遺跡は、小倉山の南側に張り出した台地上に位置する縄文時代中期の遺跡で、限られた範囲に複数の住居跡や土器の集積遺構・埋設遺構が集中する山梨県でも有数の集落遺跡のひとつです。イノシシやヘビといった動物意匠を凝らした土器や、突出した造形美を誇る巨大な水煙文土器など、豊富な出土資料でも知られています。同遺跡の資料は近年再評価が進んでおり、中でも17号土坑出土資料6点は、令和7年9月に国重要文化財に指定されました。本展では、縄文時代の拠点集落遺跡としての安道寺遺跡にスポットを当て、千年近く断続的に営まれた集落（ムラ）の実像にせまるとともに、優れた造形美を誇る重要文化財が生まれた背景を探ります。

主催：山梨県立考古博物館 後援：甲州市教育委員会



国重要文化財
指定記念

観覧

無料

▲山梨県指定文化財
深鉢形土器 安道寺遺跡

休館日

毎週月曜日

5月7日(木)

※5月4日は
開館



安道寺遺跡 8号住居址と出土状況



The
へび!

▲山梨県指定文化財
有孔罎付土器 安道寺遺跡

「有孔罎付土器」とは？

有孔罎付土器（ゆうこうつばつきどき）は、その名の通り口縁部付近に小さな孔（あな）がいくつも並び、そのすぐ下に罎（つば）のような装飾を巡らせた形状の土器です。その用途には諸説あり、酒造具説や太鼓説があります。安道寺遺跡の8号住居跡から出土したこちらの有孔罎付土器は、3.7×3.4mの小さな竪穴住居跡からほぼ完全な形で見つかりました。胴体中央にはとぐろを巻いたへび文様が表現されており、動物装飾の好例としても注目されています。



▲釣手土器 安道寺遺跡

ギャラリートーク in 企画展示室

参加費無料

5.13(水)

5.17(日)

担当学芸員によるギャラリートーク（展示解説）を行います。事前予約不要、参加当日、希望の時間帯（①か②）にお集まりください。

① 10時～ ② 13時30分～

じゅうようぶんかざい

Q. どうして重要文化財になったの？

祝

Suienmon doki

水煙文土器

Water-smoke pattern earthenware

2. 国内最大クラスの大まき

一番大きな個体は高さ83cmという大形の深鉢形土器（水煙文土器）で、国内最大クラスの大きさを誇ります。



深鉢形土器

水煙文土器



83cm

大きさもデザインもピカイチ！

深鉢形土器附深鉢形土器・深鉢形土器把手

ふかばちがたどまき

ふかばちがたどまき

3. 驚異の残存率！

バラバラになってほとんどのカケラを失う土器も少なくない中、コチラの水煙文土器は約9割もの実物が残っており、当時の姿を今に伝えています。



土器把手



Andōji Site

山梨県甲州市塩山
下粟生野・中萩原

17号住居跡内土坑



とこう土坑の中からまとまって出土しました。ただ投げ捨てたわけではなく、丁寧に重ねて配置され、「埋納(まいのう)」という儀礼的な行為が行われたと考えられています。

当館所蔵の甲州市安道寺遺跡出土土器6点が、国の重要文化財に指定されました！

A. 出土状況への高評価 「見つかり方がいい！」

A. 土器自体への高評価

「そきそきモノがいい！」



令和8年1月31日（土）に優秀作品（次ページ参照）を対象とした表彰式ならびに研究発表会を行いました。同日1月31日（土）～2月22日（日）の期間には、応募作品のすべてを一堂に展示する「研究成果展示会」を開催し、レポートや模造紙といった紙作品は勿論、土器や模型、衣装といった形式にとらわれない多種多様な研究成果を紹介しました。応募作品総数415点、参加者総数533名もの児童・生徒のみなさんにご応募いただき、賞の有無にかかわらず、子どもならではの自由な視点と発想力を活かした力作の数々が展示室を彩りました。



わたしたちの研究室

研究成果展示会

わたしたちの研究室は、山梨県立考古博物館が主催する小・中学生を対象とした歴史・考古学分野の自由研究コンクールです。特に優秀な作品を表彰すると共に、応募いただいたすべての作品も当館で展示公開しています。

評価のポイント

現地調査

自ら現地あるいは博物館・図書館といった施設に足を運び調査をしているか。

実体験

自らの体験や製作、考察に基づいて研究しているか。

文献活用

インターネットだけでなく、信頼できる文献や資料を活用しているか。

私見

自分自身の言葉でまとめ、考えたことを書いているか。

すべての応募作品は事前に有識者を集めた選定委員会において精査しています。評価の基準はさまざまですが、特に重視しているのは左記の4点。難しい知識を問うよりも、子どもたちがそれぞれどんな場所へ赴き、体験をし、考察をしたかに重点をおき、その過程を自分の言葉でのびのびとまとめている作品を高く評価しています。こうした作品を集約した展示会では、大人の視点とは一味違う新鮮な気付きを得られるとともに、自由研究のより実践的なヒントも見つかります。今後も研究者の卵たちが自分の成果を発表する機会を設けつつ、それを見た人にとっても学びを得られるような豊かな場を提供できるよう、活動を続けていきたいと考えています。

さまざまな作品を見比べることで、自由研究のヒントがきっとみつかります！

参加中学校

- ◆ 北杜市立甲陵中学校
- ◆ 山梨市立山梨南中学校
- ◆ 山梨市立山梨北中学校
- ◆ 山梨市立笛川中学校
- ◆ 甲州市立塩山中学校
- ◆ 甲州市立勝沼中学校
- ◆ 甲州市立松里中学校
- ◆ 山梨大学教育学部附属中学校
- ◆ 山梨学院中学校

参加小学校

- ◆ 市川三郷町立市川南小学校
- ◆ 中央市立田富南小学校
- ◆ 昭和町立柳原小学校
- ◆ 甲斐市立敷島北小学校
- ◆ 甲府市立相川小学校
- ◆ 笛吹市立御坂西小学校
- ◆ 山梨市立山梨小学校
- ◆ 山梨市立加納若小学校
- ◆ 山梨市立日下部小学校
- ◆ 山梨市立八幡小学校
- ◆ 山梨市立岩手小学校
- ◆ 甲州市立山南小学校
- ◆ 甲州市立東雲小学校
- ◆ 甲州市立大和小学校
- ◆ 都留市立宝小学校
- ◆ 駿台甲府小学校
- ◆ 山梨学院小学校
- ◆ 山梨大学教育学部附属小学校

2026 1.31(土) > 2.22(日)

個人
研究部門
小学校の部



 **優秀賞**

甲斐市立敷島北小学校
4年 三橋みのりさん
「縄文土器のきょうについて」



 **優良賞**

笛吹市立御坂西小学校
5年 此川勇吾さん
「御坂の地形から特徴を調べる」

 **最優秀賞**

駿台甲府小学校
6年 向山くるみさん
「足もとに眠る歴史」



甲斐市立敷島北小学校
3年 小宮葉さん
「大塚古ふんの謎にせまる」



甲府市立相川小学校
6年 伊藤美桜歌さん
「土偶新聞～土偶の正体に迫る～」

「土偶新聞～土偶の正体に迫る～」



第23回受賞者集合写真



団体
研究部門



個人
研究部門
中学校の部

 **最優秀賞**

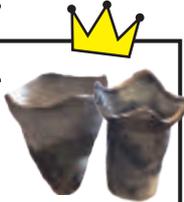
山梨市立笛川中学校
2年 武藤有愛さん
「校歌から知る
笛川地区の歴史と魅力」



▲受賞者代表あいまつで登壇した武藤さん

 **最優秀賞**

山梨市立岩手小学校
6学年のみなさん
「Lets enjoy Jomon life.
～ゾク・岩手地区縄文生活復興計画～
体験！縄文時代！」



 **優秀賞**

甲府市立相川小学校
6学年のみなさん
「武田の杜を調べよう」



 **優秀賞**

山梨大学教育学部附属中学校
1年 小林愛美華さん
「山梨の教育史について」

北杜市立甲陵中学校
1年 市川日南子さん
「縄文土器の美」



▲小林さん



▲市川さん

 **優良賞**

山梨市立山梨南中学校
1年 佐藤李南さん
「祖父が飲んでいるワインと
ぶどうの歴史」

山梨市立山梨南中学校
1年 笹本城瑛さん
「大月桃太郎伝説」

山梨大学教育学部附属中学校
1年 寺田芽さん
「戦争遺跡に隠された秘密とは？」
～戦争遺跡が残されている目的・理由～

 **優良賞**



駿台甲府小学校
5学年のみなさん
「縄文土器作り」に
挑戦！」

 **優良賞**

市川三郷町立市川南小学校
6学年のみなさん
「市川三郷町
歴史ライブラリ」



開催報告

Event Report

第42回特別展

儀礼用仮面土器 早稲田大学蔵



昨年の秋に開催した第42回特別展「PAPUA×JOMON 縄文文化の謎を考える—パプアニューギニアの民族誌—」は、これまでの展示とは一線を画す、全く新しい視点から縄文文化を読み解こうとする意欲的な展示会でした。本展では、早稲田大学考古学研究室の協力のもと、パプアニューギニアの貴重な民俗資料を一堂に集め、日本の縄文資料と比較展示しました。800を超える部族による多種多様な文化と信仰が息づくパプアニューギニアは、まるでタイムカプセルのように太古の記憶を今に伝える稀有な島国です。この国で生まれた造形物には、日本では失われつつあるアニミズム的な思想や精霊への篤い信仰がありありと表現されており、今や想像するしかない原始社会の様子を垣間見させてくれるようでした。

PAPUA×JOMON

縄文文化の謎も考える —パプアニューギニアの民族誌—

9月26日(金)のオープニングセレモニーにて、地元中道南・北小学校の児童会長と関係者によるテープカットを行った様子



2025 9.27(土) - 12.7(日)

時代も地域も全く異なる文化の競演でありながら、今回の展示品には相違点以上にどこか普遍的な共通性を見出さずにはいられませんでした。たとえば、パプアニューギニアの豊かな自然の中から直接抽出したかのごとく鮮やかな色づかい、躍動感あふれる線表現、荒々しくも生命力に満ちた動植物、あるいは精霊の造形——いずれも数千年前の縄文の造形に通ずるセンスと美意識を感じさせ、初めて見るものですらどこか懐かしさを覚えるような親しみと発見がありました。山梨——ひいては日本が誇る縄文文化をひも解く新たな見地として、こうした他文化からのアプローチを今後も続けていきたいです。

夏季企画展

玉ものがたり

2026 7.11(土) - 8.30(日)

—古代からのメッセージ—

観覧無料

玉類は、耐久性が高く美しい素材に孔を開け、研磨するなどの工程を経て丁寧に加工した貴重品です。古くは呪術的・象徴的な意味を担い、贈与や交換によって人とのつながりを示しました。本展では、縄文～古墳時代の資料に注目し、そこに込められた不思議な力から原始・古代のメッセージを読み解きます。

ヒスイ製大珠 天神遺跡▶



第43回
特別展

中部高地に芽生えた 水煙文土器とその周辺

一般：600円

小・中・高校生 無料
県内在住の65歳以上

山梨・長野に代表される中部高地で出土する「水煙文土器」は、渦巻く水煙を思わせる躍動感あふれる文様が魅力で、国内外から高い評価を受けています。本展では、大小さまざまな水煙文土器を一堂に集め、およそ4500年前にさかのぼる「水煙文」の秘密を、周辺地域の土器とのつながりからひもときます。

2026 9.19(土) - 11.23(月祝)

◀水煙文土器 上野原遺跡【撮影：小川忠博】

次回展示
Next Exhibition

	企画・特別展	ものづくり教室 原始・古代の技に学ぶ	ものづくり教室 チャレンジ博物館	講演会・講座	祭り・その他
2026					
4					
5	春季企画展 国重要文化財指定記念 「甲州市安道寺遺跡」 ー縄文時代の大きなムラー 4/25-6/14 	23 第1回 安道寺遺跡の 顔面装飾作り ◇春季企画展連携	10 第1回 縄文と弥生時代の 土笛づくり ◇春季企画展連携	30 第1回考古学講座	3・4 第37回 風土記の丘こどもまつり 共
6	 ◀水煙文土器把手 安道寺遺跡	20 第2回 藍のろうけつ染め ～土器模様 タペストリー作り～ ◇春季企画展連携	7 第2回 縄文時代のかごづくり ◇春季企画展連携	20 第2回考古学講座	風土記の丘で 七夕飾り 6/20 7/12
7	夏季企画展 「玉ものがたり」 ー古代からのメッセージ 7/11-8/30  ヒスイ製大珠 天神遺跡▶	18 第3回 トンボ玉 ストラップ作り ◇夏季企画展連携	5 第3回 縄文時代の耳飾ペンダント づくり ◇夏季企画展連携	11 第3回考古学講座	4・5 山梨の七夕人形をつくろう
8		22 第4回 再生琥珀の勾玉 ネットレス作り ◇夏季企画展連携	2 第4回 古墳時代の大きな勾玉の ペンダントづくり 23 第5回 弥生時代の矢じりの ペンダントづくり ◇4回・5回夏季企画展連携	1 第4回考古学講座 30 第1回館長講座 「縄文時代の生業活動」	夏休みイベント 7/25 8/30
9	臨時休館 9/12-18	19・20 第5回 青銅鏡作り (方格規区鏡)	6 第6回 江戸時代の藍染め		19 風土記の丘で星を見る会 共
10	第43回特別展 「中部高地に芽生えた 水煙文土器とその周辺」 9/19-11/23  水煙文土器 上野原遺跡▶	24 第6回 アンギン編み ◇特別展連携	11 第7回 縄文風陶器づくり ◇特別展連携		18 秋のふれあいまつり 共
11	臨時休館 11/24-30	14 第7回 千支土鈴(未)と 水煙文の置物作り ◇特別展連携	8 第8回 縄文時代の土偶づくり ◇特別展連携	8 第2回館長講座 「縄文時代の 過剰装飾土器について」	7 古代と自然を楽しむ日 共 20 県民の日イベント 23 落ち葉で焼きいも! 共
12		19 第8回 縄文土器作り!① [3回連続講座]	6 第9回 縄文と千支の土鈴づくり ◇特別展連携	13 第3回館長講座 「山梨県における 縄文時代の歴史と文化」	
2027					
1	臨時休館 1/12-17 第24回 わたしたちの研究室 研究成果展示会 1/30 2/21 風土記の丘望見展 1/2 1/24 新年千支展	9・31 第8回 縄文土器作り!②③ [3回連続講座]	10・31 第10回 縄文土器を つくって焼き上げよう [2回連続講座]		2・3 お正月イベント 11 古代米でもちつき大会 共 30 第24回わたしたちの研究室 表彰式・研究発表会
2		6・7 第9回 青銅鏡形 チョコレート作り [単独2回講座]	14 第11回 火起こし器をつくって 火をおこそう	21 第4回館長講座 「縄文農耕論」	
3	山梨の遺跡 発掘展跡 2027 3/6 4/4	6 第10回 銅矛形 ペーパーナイフ作り	14 第12回 古墳時代の剣柄頭づくり		7 春まつり

令和 6 年度
考古学講座

遺跡発掘秘話

会場：風土記の丘研修センター 講堂

発掘当時の貴重なエピソードとともに遺跡の魅力を紹介します。

※講師の所属は令和 6 年 3 月現在の情報です。

第 1 回 5.30 (土) 講師：石神 孝子 氏
[山梨県立博物館]

「甲州市大木戸遺跡発掘秘話」
— 縄文のムラにいたのはおおまどく人 —

第 2 回 6.20 (土) 講師：村石 眞澄 氏
[富士河口湖町歴史編纂室長]

「甲府市塩部遺跡発掘秘話」
— 見つけた東日本最古のウマの歯 —

第 3 回 7.11 (土) 講師：大高 正之 氏
[甲斐市教育委員会]

「甲府市御岳田遺跡発掘秘話」
— 水晶の玉はここからつくられた —

第 4 回 8.1 (土) 講師：坂本 美夫 氏
[山梨県考古学協会会員]

「甲府市史跡銚子塚古墳附丸山塚古墳」
— やまなしできれいな古墳がみられるわけ —

各回開催日の 1 か月前から当館 HP または電話 [☎055-266-3881]・
来館にて申し込みを受け付けます (定員になり次第受付終了)。

令和 6 年度



館長講座



講師 高橋 龍三郎 館長 [早稲田大学名誉教授]

「縄文文化の国際発信—山梨から世界へ—」

当館の高橋龍三郎館長が、台湾・韓国での国際講演で扱った内容を
交えながら、縄文文化を 4 つの視点から紹介します。

第 1 回 8.30 (日) 「縄文時代の生業活動」

第 2 回 11.8 (日) 「縄文時代の
過剰装飾土器について」

第 3 回 12.13 (日) 「山梨県における
縄文時代の歴史と文化」

第 4 回 R9 2.21 (日) 「縄文農耕論」

※本講座はパソコンまたはスマートフォンを使ったリモート配信となります。

各回開催日の 1 か月前よりホームページにて予約を受け付けます。
尚、4 回連続の申し込みはできませんので、必ず一回ずつ手続きを
お願いいたします (電話・来館での受付はできません)。

要予約・参加費無料

考古博物館・風土記の丘研修センター利用のご案内

山梨県立考古博物館 開館時間 9 時～17 時

TEL 055-266-3881 FAX 055-266-3882 [入館は 16 時 30 分まで]

観覧料 <常設展>

一般・大学生 220(170)円

高校生以下 無料

65 歳以上の方 無料 (要証明書)
<特別展の場合は県内在住の方のみ無料>

※()内は 20 名以上の団体料金
障がい者手帳をお持ちの方と
付き添いの方 1 名無料
山梨県民の日 (11 月 20 日) 無料

休館日

毎週月曜日 (祝日の場合は翌日)

祝・祭日の翌日 (土・日・祝は除く)

年末年始 (12 月 29 日～1 月 1 日)
風土記の丘研修センターは 1 月 3 日まで休館

令和 6 年度臨時休館

9 月 12 日 (土)～18 日 (金)
11 月 24 日 (火)～30 日 (月)
令和 9 年 1 月 12 日 (火)～17 日 (日)
※展示会準備・撤収・館内整備のため

考古博物館定期観覧券 [1 年間当館の常設展と特別展を何回でも観覧可]

一般・大学生 1,360 円

ミュージアム甲斐 in 券 [4 館共通定期観覧券 (年間パスポート券)]

※当館・県立博物館・県立美術館・県立文学館の 4 館で 1 年間に有効。

一般 5,240 円 大学生 2,620 円

交通
アクセス

路線バスの利用 ◆ JR 甲府駅より豊富行 (中道橋経由) 「県立考古博物館」下車
自家用車の利用 ◆ 中央自動車道甲府南 IC より 1 分 (インター正面)

発行日 令和 8 年 3 月 19 日
発行所 山梨県立考古博物館
住所 〒400-1508 山梨県甲府市下曾根町 923
電話 055-266-3881
印刷 株式会社 峡南堂印刷所

本号には令和 8 年度の年間スケジュールならびに令和 7 年度下半期の開催報告を掲載して
おります。来年度は新たに国の重要文化財に指定された安道寺遺跡出土品のお披露目を皮切り
に、年間を通じて縄文色の濃い一年になりそうです。山梨が誇る縄文文化の魅力をあらため
て広く周知し、地域の誇りとして未来に伝えていけるようより一層努めてまいります (あ)。

風土記の丘研修センター 開館時間

TEL 055-266-5286 FAX 055-266-5287 8 時 30 分～17 時

学校 (団体) の利用について

教育課程 (小・中学校、高等学校、特別支援学校) で入館される
場合は事前に見学の申し込みをお願いいたします。
見学時間を十分にとり、しっかりと見学できるようにしてください。
できるだけ下見をし、担当職員と打ち合わせをしてください。
学校見学の申し込みと問い合わせ先：風土記の丘研修センター

